

おうめ

# 市議会だより

## 主な内容

6月定例会のあらまし	1
市長提出議案の主な内容、議員研修会	1
議会日誌	1
一般質問	2～6
全員協議会から、特別委員会から	6
審議された議案と議決結果	6
特別委員会の設置	6
9月定例会会議予定	6

No. 264

令和5年(2023年)8月15日  
発行/青梅市議会  
電話番号/0428-22-1111(代)

## 令和5年青梅市議会定例会 6月定例議会

# 改選後初の一般質問には 22人の議員が登壇しました!



御岳苑地前の川原

改選後初の定例議会となる令和5年市議会定例会6月定例議会は、6月9日から6月26日までの18日間の期間で行われ、初日の本会議では議案審議が行われた後、一般質問が始まりました。一般質問は、6月9日、12日および13日の3日間にわたって行われ、22人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2～6面に要旨を掲載)。

6月定例議会上程された市長提出議案は、令和5年度の補正予算2件、条例6件、その他18件の全26件でいずれも原案どおり可決または同意されました。

また、最終日には、総合病院建替特別委員会と文化複合施設整備特別委員会の設置が決まり、それぞれ8人の委員が選任された後、各委員会ですべての委員が決められました(6面に掲載)。

## 市長提出議案の 主な内容

■令和5年度青梅市一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出予算にそれぞれ4890万8千円を追加し、その総額を558億7610万9千円とする。

【主なもの】

- ▽不登校児童・生徒に対する支援員の増
- ▽妊婦超音波検査に対する公費負担回数増
- ▽外遊び型子育て支援事業の実施

■青梅市印鑑条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例(施行日公布の日)

マイナンバーカード機能が搭載されたスマートフォン等による証明書コンビニ交付の開始が延期されたことに伴い、青梅市印鑑条例の一部を改正する条例の施行期日を改める。

■子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(施行日公布の日)

子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行による、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準および家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行う。

■青梅市虐待・配偶者暴力の防止に関する条例(施行日公布の日)

児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待および配偶者からの暴力の防止に関する基本理念を定め、青梅市、市民および関係団体の責務ならびに地域社会の役割を明らかにすることにより、虐待・配偶者暴力のない誰もが安心して暮らせるまちを実現することを目的とし、条例を制定する。

■青梅市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例(施行日公布の日)

建築基準法の一部改正に伴い、建築物にかかる容積率の算定方法を改める。

## 議員研修会

6月23日に株式会社廣瀬行政研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に迎え、「地方議会の運営について」と題し、議員研修会を開催しました。



## 議会日誌

〔6月〕

### 6月定例議会

議会期間 6月9日～26日 (18日間)

9日 議会運営委員会  
本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、一般質問)

12日 本会議(一般質問)

13日 本会議(一般質問)

16日 総務企画委員会

環境建設委員会

福祉文教委員会

20日 予算決算委員会

全員協議会

23日 議員研修会

26日 議会運営委員会

本会議(諸報告、特別委員会設置に関する動議、委員会議案審査報告、閉議)

総合病院建替特別委員会

文化複合施設整備特別委員会

予算決算委員合理事会

20日 総合病院建替特別委員会

政治家、有権者の方々へ

贈らない  
求めない  
受け取らない

政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。また、有権者が政治家に寄付を求めることも禁止されています。

# 一般質問

青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像で視聴いただけます。

議員名の( )内の表示は、会派名または党派名です。

(自 民)…自民クラブ  
 (公 明)…公明党  
 (フォーラム)…市民フォーラム青梅・都民ファーストの会  
 (都民ファーストの会)…都民ファーストの会  
 (共 産)…日本共産党青梅市議団  
 (維 新)…日本維新の会  
 (立 憲)…立憲民主党

## 明星大学青梅キャンパスについて問う



議員 ①「まちの将来像」を実現していくに当たっての工夫は、

- ②土地利用方針に掲げた「将来活用エリア」には個別計画が存在しないが、その性質・内容は、
- ③明星大学青梅キャンパスに対する市長の考えは、
- ④一度原点に戻って、整理をし、市民の意見を聞いて検討しては、

市長 ①PDCAサイクルにもとづき、個別計画におけるKPI等の評価・検証も踏まえ、計画の推進を図っていく。

②「成木地区の鉱山・採石事業地」は周辺環境に配慮し特性を生か

## 児童虐待防止について問う

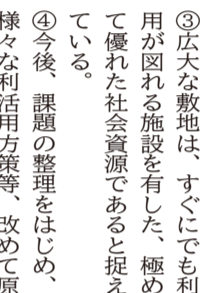


議員 ①児童虐待防止対策について何う。

- ②児童相談所との連携体制は、
- ③距離の離れた児童相談所と連携する上での工夫、課題は、
- ④児童相談所を青梅市へ誘致すべきであるが、見解を何う。

市長 ①青梅市要保護児童対策地域協議会において、児童虐待の情報交換や関係機関との連携等を行っている。また、こども家庭センターを設置し、母子保健部門との一体的な相談体制を構築し、体制の強化を図った。

## 自転車ヘルメット購入費用補助事業について問う



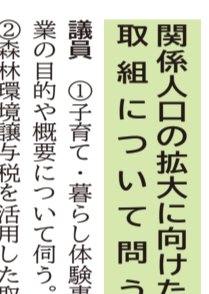
議員 ①市の補助事業の概要は、

- ②市民からの要望は、
- ③全世代対象に補助を広げては、

市長 ①市内の事業協力店での13歳未満の幼児・児童用自転車ヘルメットの購入に対し、1個につき2千円を上限に助成している。

②年齢を問わず助成してほしいとの要望を受けている。

## 関係人口の拡大に向けた取組について問う



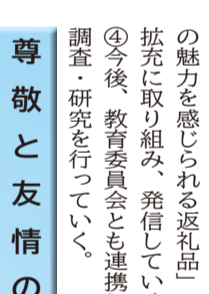
議員 ①子育て・暮らし体験事業の目的や概要について何う。

- ②森林環境譲与税を活用した取組を広げることに何う。
- ③ふるさと納税の返礼品に、地域資源を活用し、体験できるものを検討しては、
- ④地域の伝統文化継承等のため、市内外から小・中・高・大学生等を募集して、「地域おたすけ隊」のような組織をつくっては、

市長 ①都心などに在住する子育て世代に青梅市での暮らしを提供することで、人と人の継続的なつながりを創出し、市に対するイメージアップと関係人口の拡大を図るものである。

②特別区や森林を持たない他の

## 尊敬と友情のきずなを深めよう!



議員 ①姉妹都市交流の現状は、

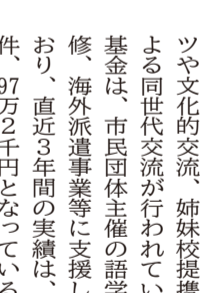
- ②市民へのPR活動は、また、PR看板設置の経緯、経年劣化への対応について何う。
- ③今年市長がポツバル市を訪

市長 ①姉妹都市交流の現状は、また、青梅市国際交流基金の活用状況について何う。

②市民へのPR活動は、また、PR看板設置の経緯、経年劣化への対応について何う。

③今年市長がポツバル市を訪

## 子どもの居場所づくりについて問う



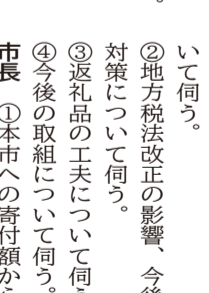
議員 ①子どもの居場所を整備すべきと考えるが、今後の取組について何う。

- ②大型児童センターの設置に当たり、どのように子育て当事者の声を吸い上げるのか。
- ③気軽に通える工夫をすべきであるが、見解は、
- ④設置に向けたスケジュールは、

市長 ①既存施設を活用し、安心・安全に過ごせる居場所を確保している。今後は、第7次総合長期計画に示したとおり、大型児童センターを設置する予定である。

②子育て世代と市長との懇談会などで意見聴取を行う。また、小・中学生はオンラインミーティングを活用、高校生についても意見を聞く場を設けていく。

## 子どもの預かり事業について問う



議員 ①事業の概要と利用実態について何う。

- ②夜間保育、週末保育、病児保育に対する取組について何う。
- ③ファミリー・サポート・センター利用者の自己負担軽減について見解を何う。
- ④都のベビシッター利用支援事業を導入すべきであるが、見解は、

市長 ①保育所等に入所していない子どもを、保護者が一時的に保育できない場合に預かる。利用は年間800人余である。

②夜間保育はニーズが少なく、行っていない。土曜保育は全園で実施、日曜は実施していない。

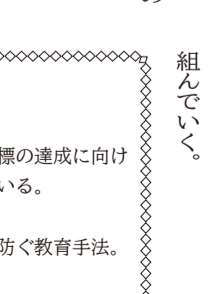
③病児対応型および病後児対応型病児保育所は、各1園である。

④現時点で補助する考えはない。

⑤事業者が区部に集中しており、地理的距離のある西多摩地域へのベビシッター派遣は難しい。

「他の質問」：自転車の安全走行について

## 猛暑日による健康被害の対策について問う



議員 ①昨今の夏の異常気象に、市としてのこれまでの対応は、

- ②気候変動適応法改正について市としての捉え方を何う。
- ③公共施設を活用した避暑施設(クーリングシェルター)の設置への考え方を何う。
- ④気候変動による健康被害の対策は、市の個別計画にも記していくべきと考えるが、見解は、

市長 ①時期に合わせて、広報やホームページ等により、正しい知識の普及と啓発に努めている。

## ふるさと納税について問う



議員 ①本市の現状と課題について何う。

- ②地方税法改正の影響、今後の対策について何う。
- ③返礼品の工夫について何う。
- ④今後の取組について何う。

市長 ①本市への寄付額から、市民が他自治体へ行った寄付による市民税控除額およびふるさと納税サイトの利用料や返礼品等の経費を差し引くと大幅な赤字となり、その抑制が課題である。

②法改正により、青梅市民へ返礼品の提供ができなくなり、市民からの寄付件数、金額とも減となった。本市のまちづくり共感いただき、寄付の受入れを増やす取組が重要と考える。

③地場産品の拡充とともに、地域資源を活かした体験型の返礼品など、充実を図っていく。

### 用語の解説

- 注1…KPI (2ページ・久保議員)  
重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。目標の達成に向けた行動を評価するための指標として多くの企業で採用されている。
- 注2…スケアード・ストレイト (3ページ・長谷川議員)  
恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法。
- 注3…アピアランスケア (3ページ・長谷川議員)  
がん治療の過程で生じた外見の変化に対するケア。



夏の暑さを防ぐひとときの「涼み処」として、市民センターのロビーなどが開放されました。



自転車ヘルメット購入費用助成金について問う



山田 紀之議員 (自民)

議員 ①今後、年齢制限なく自転車ヘルメット購入費用助成事業を実施する動きはあるか。

市長 ①都の補助事業も活用し、すべての市民を対象とする助成事業を、今年度中に実施する予定である。

自転車専用道路について問う

議員 ①市内や近隣自治体の状況について問う。

②羽村市内の新奥多摩街道には、自転車専用通行帯の標示があるが、青梅市内の設置計画と自転車ナビマークの設置状況は、

③自転車の利用環境整備に対する考えを問う。

市長 ①市および近隣自治体には設置されていない。

②都は、東京都自転車通行空間整備推進計画にもつき、自転車専用通行帯などの整備を実施している。現在、市内には自転車専用通行帯はないが、幹線道路や駅周辺など、自転車利用の多い地区には、警察と連携し、ナビマークの設置を進めている。

③自転車の活用は、市民の利便性の向上や観光振興はもとより、市が掲げる健康寿命日本一や、2050年カーボンニュートラルの実現に資するものと考え、引き続き、都や警察など関係機関と連携し、安全に自転車を利用できる環境整備に取り組んでいく。



人口減少問題に対する取組について問う



茂木 亮輔議員 (維新)

議員 ①子育て支援策、情報発信について問う。

②移住・定住促進プランの取組状況、目標達成状況および今後の取組について問う。

③結婚にかかる市の取組は、④目標人口の達成に向けた有効な取組、市長の思いは、

市長 ①子育て講座、子育て支援センター等の設置、小・中学生の外来医療費の無償化、出産・子育て応援事業などを行っている。広報、ホームページ、子育てアプリ等様々な媒体を活用

投票率の向上について問う



中野 芳則議員 (自民)

議員 ①市議会議員選挙の投票率の向上に向けた取組は、

②さらなる投票率向上策として、入場整理券を持参しない場合の対応、投票所の地区を限定しない等の対応、また、選挙結果の全戸配布について問う。

③選挙管理委員会が考えている投票率の向上策は、選挙管理委員会事務局 ①特に投票率の低い若者世代へ選挙の大切さを伝えるとともに選挙を身近に感じていただくための啓発活動を行っている。

②入場整理券を持参しない場合把握する実態調査の実施は、

③習い事や塾代の助成事業に対する今後の取組について問う。教育長 ①国や都の補助を活用した事業のうち、放課後に在籍校で学習を支援するステップアップクラスは、1回当たり小学校で14人、中学校で15人が参加した。高校等への進学を目的としたスタディ・アシストは、54人の申し込みがあった。

②個人情報に関するものであり、調査の実施は考えていない。③新たな助成事業の創設は考えていない。引き続き、実施中の事業の充実を図り、児童・生徒の学力向上に取り組んでいく。

④市と地域住民とが、訓練などを通じて情報共有を図っておく必要があると認識している。

学校及び家庭における学習支援策の取組について問う

議員 ①小学生以降における学習支援策およびその利用状況は、②習い事や塾に関して、現状を

も手続を行えば投票できる。当日投票所の地区限定の撤廃については、費用、LAN構築、トラブル時の対応等の問題が想定されるため、現時点では困難と考える。選挙結果の全戸配布は、公職選挙法に規定がないため、実施していない。告示の他、ホームページ、市役所ロビーへの掲出等で周知に努めている。

③SNSの活用や街頭での啓発活動等、今後も様々な手法を用いて、広く普及啓発、投票率の向上に努めていく。

東青梅駅について問う

議員 ①単線利用となったため、遮断機が下りている時間が長く、近隣道路の渋滞があったが、改善されたか。

②単線化に伴い、使用していないホーム側に転落防止柵が設置された。柵は点字ブロック上にあり、電車を待つスペースも狭くなっている。改善されるか。

市と地域との訓練を行う必要があると考えるかどうか。④今後の防災意識醸成への取組は、

市長 ①地域の小学校等を会場とし、災害対策本部や地区対策本部、自主防災組織本部の設置・運営訓練を実施している。市民は、初期消火訓練や要配慮者支援訓練などに参加していただいている。

②アルファ米などの食料、避難所開設に必要な物品、感染症対策物品などを備蓄し、トイレ、寒さ対策などの対応に努めている。

③市と地域住民とが、訓練などを通じて情報共有を図っておく必要があると認識している。

防災訓練や防災啓発に関する取組について問う

議員 ①コロナ禍前の総合防災訓練の内容、取組について問う。②避難所の備蓄食料や物品は、③避難所の設置・運営に関する

③青梅駅も含め、電車の本数を削減する計画があるのか。市長 ①JR東日本によると、信号設備の改修や徐行区間の短縮を行い、現在は改善されているとのことである。

②現在は仮設のもので、8月頃までに本設の背面柵を設置する予定であるとのことである。また、仮設柵下の点字ブロックへは誘導しない措置をされており、今後撤去することである。

③東青梅駅の単線化は、中央線快速等のグリーン車サービス開始に向けたホーム延伸に伴うものであり、運行体系の見直しを行うためのものではないとのことである。



東青梅駅ホーム (令和5年6月末現在)

青梅市の交通安全対策について問う



長谷川 真弓議員 (公明)

議員 ①通学路の安全対策の取組と進捗状況を問う。

②道路交通法の一部改正によるルール変更後のマナー等を学ぶ機会や周知について問う。

③自転車損害賠償保険への加入義務化にかかる市民への周知は、④自転車ヘルメットに対する補助事業について問う。

教育長 ①教育委員会では、通学路緊急合同点検を実施した。これを受け、青梅警察署、東京都西多摩建設事務所と対応策を協議し、可能なものについて速やかに対応した。交通安全指導

していると回答している。②4年度末で指定収集袋取扱店150店舗中12店舗で行っている。取扱店に協力をいただきながら、拡大に取り組む。

③ごみ減量の取組の一つとして、日野市の実証実験の結果を注視していく。



新たなごみの指定収集袋について問う



湖城 宣子議員 (公明)

議員 ①レジ袋の有料化に伴うレジ袋のごみ量およびマイバッグの利用数について問う。

②レジ袋の代わりに、ごみ指定収集袋を利用できるよう単品販売を行っている店舗について問う。

③日野市の取組のように、ごみ指定収集袋をレジ袋として利用しやすいデザインにしては、

市長 ①レジ袋のごみ量は、分別処理をしないため把握していない。市民アンケートでは、約4割の方がエコバッグを使用し

や啓発等による安全対策を実施することで全ての箇所への対策を完了している。

市長 ②市内の小学3年生を対象に講義、実技講習を実施し、自転車運転免許証を交付した。中学校は、スクエア・ストリート方式による自転車安全教室を実施。市民を対象に交通安全講習会を12回開催した。また、自転車ヘルメットを市庁舎に展示して着用を啓発、ホームページ、広報にて周知した。

④がん看護ウェブ研修に参加した。今後、研修を受けた看護師による院内勉強会を開催する。新病院開院後は、地域の医療者や患者向けの勉強会などを計画していく。

市長 ②青梅商工会議所と協力し、市内事業者に向けていく。③次年度の実施に向けて準備を進めていく。

がんとの共生を目指して

議員 ①青梅市立総合病院における昨年のアピランスケア相談実績と相談内容について問う。

点字版、音訳版の配布、投票所への点字器等の配備等を行っている。選挙事務従事者による代理投票を実施している。

②代理投票は、公職選挙法第48条により規定されている。4年度の参議院議員選挙においては、期日前投票所で84件、当日投票所で39件の実績があった。③利便性の向上が図られる制度であるため、先行自治体の事例を参考とし導入を検討していく。

ICTを活用したいじめ等の問題の把握について問う

議員 ①いじめの件数、把握・認知の方法、相談体制の現状等について問う。

②不登校の件数、対応は。③アンケート調査のみで十分なのか問う。④ICTを活用したいじめ等の相談体制を考えてはどうか。教育長 ①件数は4年度129

②厚生労働省が推進する「がん対策推進企業アクション」の周知は、

③ウィック等の購入費用の助成について問う。

④アピランスケアに関する研修の進捗状況は、①相談件数は340件、内容については、ほぼ脱毛についてであり、ウィックの必要性や選び方などの支援を行った。

④がん看護ウェブ研修に参加した。今後、研修を受けた看護師による院内勉強会を開催する。新病院開院後は、地域の医療者や患者向けの勉強会などを計画していく。

市長 ②青梅商工会議所と協力し、市内事業者に向けていく。③次年度の実施に向けて準備を進めていく。

6件で、3年度より減少している。いじめ問題対策委員会を開催し、全教職員で共通認識を図っている。各学校では、アンケート調査を実施し、早期発見、解決に向け取り組んでいる。また、小5、中1へスクールカウンセラーによる全員面接を実施している。

②件数は4年度452人で、増加傾向にある。教育委員会では、状況の把握と学校への指導、助言を行っている。登校支援室では、指導員やスクールソーシャルワーカーが学校や家庭を訪問、適応指導教室では、学習指導、体験活動などを通して支援を行っている。

③一定の効果はあるものと考えている。

④1人1台端末を活用したいじめ等の相談体制については、先進的な自治体の取組を引き続き研究していく。

### 青梅の美しい山について問う

山田 敏夫 議員 (自民)



議員 ①青梅の森林の現状や課題について問う。

②森林の適正管理の方向性は、③担い手の確保と森林環境教育について問う。

市長 ①市の面積の約63%が森林であり、うち約94%が私有林である。5ヘクタール未満の所有者が2092人、5ヘクタール以上が230人で、多くの方が規模の小さい森林を所有している。課題は、伐採出経費および伐採後の保育作業経費を賄うための多摩産材の高付加価値

化と利用促進、切り捨て間伐による残材の活用などがある。また、森林経営管理制度による適正な管理や、市の森林の状況に適した整備と、担い手の確保も課題と捉えている。

②森林が持つ公益的機能の理解促進を図るため、市民への普及啓発を行っている。また、林業を営む人材や森林ボランティアなどの育成を継続するとともに、育成した人材による森林整備や森林環境教育の実施に向け取り組んでいる。

③森林ボランティア育成と組織化を目的として、「森林ボランティア育成講座」を開催している。講座修了者により設立された「森守会」会員は、新たな受講者の指導に当たっている。小学生に対する森林環境教育の実施は、温暖化や自然災害の防止など、森林の大切さを伝える重要な機会である。多くの市民の

### 花粉症対策について問う

山崎 勝 議員 (自民)



議員 ①花粉症の発生源となる森林の現状と課題、対策について問う。

②予防や治療方法の周知、啓発について問う。また、花粉症患者数を調査すべきでは。市長 ①市の総面積の約63%が森林であり、うち、花粉症の主な原因とされるスギ、ヒノキの森林の割合は約72%となっている。一部で放置・放棄林化が進

意識を高めることが、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組になると捉えている。



んでいることが課題である。現在、都と都農林水産振興財団により、「花粉の少ない森づくり運動」が進められている。市としても国の動向を注視し、都や関係機関と連携しながら、今後も花粉症の発生源となる森林の整備に対応していく。

②予防は、市民一人一人の認識や行動が重要である。治療については、診療所等が実施していることから、医師会等と情報交換を行っていく。今後、花粉症に関して必要な情報を取りまとめ、市のホームページ等で周知していく。なお、花粉症の患者全体を把握することは困難であ

### LGBTQについて問う

片谷 洋夫 議員 (フォーラム)



議員 ①昨年11月より東京都パートナーシップ宣誓制度が始まったが、市の対応は、

②東京都パートナーシップ宣誓制度受領証明書等により利用可能となる施策事業一覽では、青梅市は市営住宅のみで他自治体と比べ、施策が少ない。もっと増やしてはどうか。③札幌市で行っているLGBTフレンドリー指標制度を本市でも行っているかどうか。④6月はLGBTQの啓発活動を行うプライド月間であるが、

市でも啓発活動をしてはどうか。市長 ①市営住宅条例の入居者資格の見直しを行い、都が発行した受領証明書を持つカップルが家族として申し込めるようにした。

②市では、受領証明書の必要なサービスの掲載している。今後実施可能なサービスは、他の自治体を参考に、課題や影響などを整理して進めていく。③札幌市の情報を収集していく。④人権擁護委員などによる街頭啓発を行い、多様な性への理解を促すリーフレットを配布した。



### 子どもが活躍する青梅を

議員 ①第7次総合長期計画では、子どもの意見を取り入れたが、

### 新市民ホールは市民主体の計画づくりを



井上 たかし 議員 (共産)

議員 ①令和元年9月以降に行なった取組について問う。②広く市民を対象とした議論の場が必要であると考え。また、大きな継続的な枠組みで議論することが重要では。

③完成後の運営についても関わってもらおうと呼びかけてはどうか。④計画は、市と市民が双方向で丁寧に練り上げていくことが重要であると考えはどうか。教育長 ①インターネットおよび無作為に抽出した市民への郵送によるアンケートを実施した。

今後も諸施策で子どもの意見を入れていただきたいが見解は。②下校時の見守り放送を子どもの声にと提案し実施されたが、今年度から職員に戻した理由は、再度、子どもの声での放送を行っていたのだが、見解は。

市長 ①今年度も教育委員会と連携し、オンラインミーティングを予定している。今後も継続して、子ども達からの意見を聴き、市政運営に生かしていく。教育長 ②試行的に小学生の声で実施したが、子どもの声が高く響くことなどから、意見や苦情が複数寄せられた。試行期間が終了したことから、今年度は大人の声による放送に戻し、いただいた意見等を参考に検証を行っているところである。今後より良い方法を考えていく。

### 文化振興条例の制定について問う

議員 ①文化振興条例の他市の制定状況は。②文化振興条例の意義をどう考えるか。③制定に向けてどう取り組んでいくか。教育長 ①条例を制定している自治体は8市、指針等は2市、文化振興計画等を策定している市は9市である。②文化の振興に関する基本理念や、振興施策の基本となる事項を定めることで、市の責務や市民の役割を明らかにできるものであることから、「青梅市教育委員会の基本方針」である「文化・芸術の振興」において、有効な施策の一つと考えている。③文化振興施策の推進は、内容が多岐にわたることから、市長部局とも連携し、他市の具体的な取組などを参考に、憲章等の制定に取り組んでいく。

### 青梅産ワインである「ポッパルトの雫」の活用について問う



山崎 哲男 議員 (自民)

議員 ①生産や販売に関する課題について問う。また、広く周知するためには、「おうめワイン」という名称を表記することが重要ではないかと考えるがどうか。②どのようなタイミングで情報発信を行ってきたのか問う。

③今後の市内外に向けたPRは、市長 ①原料となるぶどうの収穫量のばらつき、生産者の確保情報発信による商品価値の向上等が課題である。「おうめワイン」の名称を使用するためには、市内の醸造所での製造が必要に

なるが、生産量や採算性等の観点から課題が多く、現時点では難しい。②ホームページで、ぶどう畑の収穫の様子、直近の収穫量を掲載している。発売日前には、広報、ホームページ、ツイッターにて、発売日、価格、主な販売店舗等をお知らせしている。また、姉妹都市交流のリーフレットに友好のぶどうの項目を掲載している。③SNS等の活用や、市内のイベント時での販売などを行い、効果的に情報発信することで、商品価値のさらなる向上を図っていく。また、販売は市内限定であり、希少性も高いことから、購入を目的に本市に来訪するきっかけになり得ると捉えている。市外での観光PR活動など、さまざまなイベントにおいて周知を図り、本市への来訪促進を促していく。

### 新生活スタートアップ応援事業の活用促進について問う



迫田 晃樹 議員 (自民)

議員 ①事業の概要および本年度の制度拡充の内容は。また、事業経費が前年度の当初予算と同額である理由について問う。

②利用者アンケートの結果は。③市内の企業に対し周知しては。④事業の対象者を拡大しては。市長 ①婚姻した若年夫婦に対し、新生活の費用を一部補助し、経済的負担を軽減するとともに、少子化対策、移住・定住促進を図るものである。前年度実績が目標に及ばなかったため、所得制限額等を変更し、拡充を図った。補助実績や制度拡充を踏ま

### 市内及び近隣に所在する企業と「STEM」について問う

議員 ①シティブロモーション課の事務分掌および企業訪問などの対応について問う。

②市の施策・事業の成果向上を目指すし、市の組織として企業訪問など「外回り」を主要務とする職員を配置してはどうか。

### STEMについて問う

議員 ①STEMについて問う。

②STEMについて問う。

### STEMについて問う

議員 ①STEMについて問う。

②STEMについて問う。

コミュニティバスの導入など公共交通充実について問う

藤野 ひろえ 議員 (共産)



議員 ①青梅市地域公共交通計画をどのように進めていくのか。②コミュニティバスを都内ではほとんどが運行している。導入について、バス事業者と協議すべきではないか。

③民間の送迎バスの利用についてどのように進めていくのか。④11支会の地域住民とワークショップを行う必要があるのではないか。

⑤コミュニティバスの要望は切実であるが、どう応えるのか。市長 ①既存の公共交通を補完する新たな移動手段の導入を検討する。また、マイナンバーカード

BOAT RACE多摩川の現状と今後について問う

鴨居 たかやす 議員 (自民)



議員 ①ボートレース全体の売上状況、市長就任時からの取組について伺う。②ボートレース多摩川の売上、本場入場者数、一般会計等への繰出し金について伺う。

③今後の売上向上策と、来場促進の取組について伺う。市長 ①電話投票売上が増加し、令和4年度の業界全体売上は、過去最高を記録した。市長就任時から、自主財源確保の重要施策と捉え、積極的に高グレード

ドを活用した公共交通運賃補助を検討し、高齢者等の移動を支援する取組を進める。②多摩23市で運行しているが、すべての自治体で収支がマイナスとのことである。総合的に判断して導入を見送っており、事業者と話し合う予定はない。③昨年度、市内の病院、商業施設を対象に、アンケート調査、ヒアリングを行った。今年度も引き続き協議を行い、検討していく。

④アンケート調査により地区別の課題等を把握した。今後、地域住民との話し合いを行う。⑤既存の公共交通を補完する新たな移動手段の導入により、市民の移動需要に応えていく。

がん検診など健康増進対策について問う 議員 ①がん検診の実施内容、課題などについて伺う。②都内では半数が実施している前立腺がん検診を実施してはど

うか。③大腸がん検診を無料にしては。④事業所への啓蒙・周知、かかりつけ医へのポスター掲示などによる受診率向上について伺う。

⑤負担軽減のため、がん検診に対する国庫補助の復活を求めているか。市長 ①市では、国が推奨する5種類のがん検診を行っている。受診率は、横ばい傾向であり、特に大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診の受診率向上に取り組むこと、精密検査が必要な方に確実に受けていただくことなどが課題である。

②国等の動向や、他自治体の実施状況を踏まえ、必要性について研究していく。③現段階で無料化の考えはない。④引き続き、青梅商工会議所や医師会と連携し取り組んでいく。⑤国の動向を注視していく。

市内西部地域における交通政策について問う 議員 ①市内西部地域における公共交通の課題について伺う。②地形的な要因により移動が困難な高齢者への対応は。③高齢者の移動手段の確保のため、運転免許証返納後の特典などを考えてみてはどうか。

市長 ①「青梅市地域公共交通計画」では、駅やバス停までの端末交通の整備や青梅線の活性化が必要であることなどを挙げている。②公共交通のネットワークとサイバスを維持するため、デマンド型交通などによる地域公共交通の充実に取り組む。また、地域の輸送資源を活用した移動手段の創出に向け、民間施設へのヒアリングなどを行いながら、

していく。東京都教育長会を通じて、すでに要望している。②生活保護は695万円余、就学援助は4226万円余である。認定基準改定の考えはない。③総重量の約10%で、供給される量が不安定なことや種類が限られていることなどが課題である。

④現在、新学校給食センターの建設を進めており、自校方式の導入は考えていない。⑤食への関心を持ってもらうことが重要であり、栄養面や地産地消、郷土食などを伝え、食育を進めていく。今後、栄養士が直接学校を訪問する機会を増やし、食育の向上等に努めていく。

東青梅駅について問う 議員 ①単線になったタイミングで、駅舎建て替え等について住民説明会をすべきでは。②グリーン車の導入は遅れているのか。その場合、理由を伺う。③現在の建て替えスケジュール

について伺う。④都の助成金を使って、太陽光パネルを増設してはどうか。市長 ①市庁舎は、環境に配慮した建物と認識しており、現時点でZEB評価を実施する予定はない。②約2・9倍の増加を見込んでいる。③合計392万円相当となる。④建物の構造上の課題もあり、増設は考えていない。

地域共生社会に向けた体制の整備―児童相談所、就労移行支援センター、学校内カフェなど― 議員 ①校内別室指導、「1学校1カフェ」について伺う。②乳幼児の発達障害相談はどのように行われているか伺う。また、児童相談所を青梅市にも設置してはどうか。③特別支援学級等に通学する場合の通学支援はあるか伺う。

災害時における避難場所などのレベルアップと体制強化について 山崎 善信 議員 (都民ファーストの会)

議員 ①現在の避難場所などの指定状況および災害時の具体的な連絡方法、指示系統を伺う。②避難場所などのWi-Fi設置状況および運用方法、また、都の補助金等を活用したWi-Fi設置の増強について伺う。③地区対策本部へタブレット端末を配置してはどうか。④消防団の器具置場へもWi-Fi環境の整備とタブレット端末を配置してはどうか。

市長 ①避難場所は、震災時66か所、風水害時39か所、避難所は32か所指定している。被害発生時は、青梅市地域防災計画に

基づき、災害対策本部を設置、指定された職員が参集し、必要に応じ、市民センターに地区対策本部を開設する。災害対策本部と地区対策本部は、内線電話や移動系無線などを活用し、情報連携を図る。市職員は、災害対策本部長からの命令により任務を実行、消防団は、団本部からの命令により活動する。

②小中学校についてはGIGAスクール用に整備されており、災害用に切り替えて利用可能となる。市民センター本館以外の体育館等では通信環境が不安定となることから課題がある。その他の施設については、未整備となっている。今後、Wi-Fi環境の設置に関する都の補助金制度を活用し、検討していく。③有効であると認識しているが、費用や通信環境の確保など、課題もあることから、今後も機会を捉え検証し、研究していく。④運用方法を含め、引き続き消防団と協議を行っていく。

二ツ塚処分場の工口セメント化施設建て替え、焼却灰の埋立て再開について青梅市民に十分な説明を！ 議員 ①市長として、市民全体に対する説明会開催を東京たま広域資源循環組合に求めている。②焼却灰の埋立て再開について、説明がなされるものと認識しており、新たな説明会開催を求めている。③西多摩衛生組合において焼却処理を行っており、要請を行う考えはない。④他の質問・・・公平公正な市議会議員選挙のために」

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

Let's Try 一学校給食費無償化

イタリアのオメ市との国際交流を

鴻井 伸二議員 (公明)



議員 ①イタリアのオメ市(オメ市)はどのような市なのか。外務省を通じて届いた連絡は。

②日伊文化協会ふじの会長が本市へ来訪したが、伝えられた内容は。

③オメ市との友好親善について、市長の見解は。

市長 ①イタリア北部にある人口約3200人の自然に恵まれた市である。外務省からは、オメ市との関係について検討をお願いする旨のメールと、オ...

女性活躍社会の推進について問う

野島 資雄議員 (公明)



議員 ①昇任試験制度の見直し等の進捗状況について伺う。

②全女性職員に実施したアンケート調査の結果、課題、対策は。

③女性が活躍できる職場づくりについて、市長の考えを伺う。

④教育現場における産休・育業代替教員の前倒し任用について、経緯、利用実態、評価等を伺う。

市長 ①育児休業期間中でも受験を可能とする見直しを行った。また、所属部長の推薦を受け、人事評価結果を基に選考する、推薦制度を導入した。

②子育てや介護等の家庭事情と

メ市長の書簡の写しが届いた。②オメ市には日本庭園があるなど、日本を身近に感じていた中、同じ名前の青梅市を発見し、姉妹都市提携を提案するに至ったとの内容であった。

③大変光栄であり、今後、情報交換を行い、継続的な交流の可能性等について考えていく。

マンション長寿化促進税制の推進を

議員 ①マンション管理適正化推進計画の策定予定、内容、効果および課題について伺う。

②長寿化促進税制の対象要件、また、条例改正について伺う。

③今後の取り組みについて伺う。

市長 ①本年度早期に策定する。管理の適正化に関する目標や管理計画を認定する際の基準等を定める。所有者の意識が高まり、管理水準の向上等の効果が期待できる。修繕計画による費用負...

担について、所有者の合意が得られるかなどが課題である。②築20年以上、総戸数10戸以上などの条件を全て満たしているマンションで、屋根防水、床防水、外壁塗装等工事を一体として実施することが要件となる。減税額等は、市の条例で規定する。条例改正は、本年9月定例議会への議案提出を目途としている。

③ホームページや広報などによる周知のほか、相談会等を活用し相談体制の充実を図っていく。

50年、100年先を考えた森林整備等を

議員 ①青梅市森林整備計画概要版を作成した目的と今後の活用は。また、50年後に目指す森林の姿、森林整備のサイクルに対する取組について伺う。

②育成複層林施業による針広混交林化を進める必要があると思

③子ども基本法や、改正児童福祉法への対応について伺う。④子ども家庭センター発足後の課題、今後の体制などを伺う。⑤市長の児童虐待防止への取組子育て支援への決意を伺う。

全員協議会から

6月20日に開催された全員協議会での提出事項は次のとおりです。

【市長提出事項】

■第18回姉妹都市ポツパルト市への青少年友好親善使節団派遣事業について

■スマートローカル青梅アクションプラン2023について

■青梅市を当事者とした訴訟事件の概況について

■総合病院建替特別委員会(7月20日)

■新病院建設に係る経緯及び新病院建設工事の進捗状況について

■新病院本館開院に向けたスケジュール及び運用等の検討状況について

■第2期工事の発注計画について

児童虐待防止対策を進めていくことへの対応は。



児童虐待防止への取組について問う

議員 ①子どもの虐待防止対応・連携マニュアルを改定し、児童虐待防止対策を進めていくことへの対応は。

②子ども基本法や、改正児童福祉法への対応について伺う。

審議された議案と議決結果

◆すべて全会一致で可決または同意されました◆

Table with 2 columns: 議案番号 and 議案件名. Lists various council resolutions including budget adjustments and ordinance changes.

※議3...議案第3号

令和5年青梅市議会定例会9月定例議会会議予定

Calendar table showing dates, times, and meeting topics for the September regular session.

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページでご確認ください ※傍聴のお問い合わせ：議会事務局庶務係(内線2202)



青梅市議会ホームページ QRコード

特別委員会の設置

6月定例議会最終日の本会議において特別委員会の設置に関する動議が審議され、全員の賛成により2つの特別委員会が設置されました。

総合病院建替特別委員会

「青梅市立総合病院の建てかえに関する事項について」を調査項目とし、協議を行います。

- 委員長 野島 資雄
副委員長 山田 敏夫
委員 山田 紀之
同 みねざき 拓実
同 山崎 善信
同 山崎 哲男
同 迫田 晃樹
同 山内 公美子

文化複合施設整備特別委員会

「東青梅1丁目地内諸事業用地における文化複合施設等の整備に関する事項について」を調査項目とし、協議を行います。

- 委員長 寺島 和成
副委員長 鴻井 伸二
委員 中野 芳則
同 井上 たかし
同 片谷 洋夫
同 長谷川 真弓
同 阿部 悦博
同 山崎 勝